



神奈川県地域防災拠点だより

今年度行われた訓練の様子をお伝えします。コロナ禍における今後の訓練計画の参考にどうぞ！

裏面では助成金の使い道もご紹介していますので是非ご覧ください！

各拠点の訓練を紹介

今年度はコロナに配慮した形での訓練が多く行われました。実地訓練のほかにも、卓上でできたり、少人数でできる訓練がたくさんあります！

実地訓練



夜間訓練



仮設トイレ設置訓練

実地訓練の例

- ・トリアージ訓練
- ・ハマッコトイレ組立
- ・移動式炊飯器
- ・発電機

等々…

日中の訓練だけではなく、夜間訓練も行っています！

卓上訓練

卓上訓練の例

- ・HUG訓練（避難所運営ゲーム）
- ・防災DVD視聴会
- ・マニュアルの作成・見直し



HUG訓練

拠点の現状確認

備蓄庫整理



拠点の現状確認

備蓄庫整理も訓練とすることができます。少人数で集まって備品の確認をしましょう！

活動奨励助成金（11万9千円）の使い道を紹介！

ガソリンや灯油の更新をしましょう！

備蓄庫に入っている燃料について

備蓄庫に入っている燃料の更新はしていますか？期限切れの燃料を使うと資機材の故障の原因になります！

助成金が余っている、使い道に困っている拠点は、この機会に燃料の更新をお願いします！

地域防災拠点用BWA（Wi-Fi）の更新を行います！

地域防災拠点に導入しているBWA（Wi-Fi）を、令和5年1月頃に更新します。更新時期の詳細は、別途通知にて、各地域防災拠点運営委員長にお知らせします。



BWA（Wi-Fi）

ペット同行避難者の受入れについて

災害発生時には、ペットを連れた避難者が拠点を訪れることが想定されます。多くの被災者が集団で避難生活を送る拠点においては、ペットの毛・におい・鳴き声等でトラブルにならないよう、あらかじめペット同行避難者の受け入れ態勢を整えておく必要があります。

平常時から必要な備えをするとともに、拠点訓練等の機会を使って発災時の対応もシミュレートしておきましょう。

平常時の備え

①ペットの一時飼育場所の設定

- 敷地内で雨風をしのぐことができる場所
- 鳴き声や臭いの影響が少ない場所
- ペットを連れている人とそうでない人との動線を分けて、接点を最小限にすることが望ましい



②飼育ルールの設定

例) ○給餌・清掃の方法は飼い主同士で話し合う

- 人の生活空間にペットを持ち込まない

③拠点訓練でのペット同行避難の取組み

- 右枠「発災時の対応」を想定した訓練の実施

発災時の対応

①同行避難者の受付

- ペット登録票を記入してもらう
- ペットやケージに名札をつけてもらう

②一時飼育場所への誘導

- 動物の種類や大きさごとにエリアを分ける
- タオルや仕切りで目隠しをする

③補助犬の取扱い

- ペットとは取扱いが異なることに注意する

※ペットの飼養・管理は、飼い主同士が協力しながら行う



※詳しくは、「横浜市 ペットとの同行避難対応ガイドライン」をご覧ください。区役所2階生活衛生課にて配布しています。また、WEBでの閲覧も可能です。

問い合わせ先

神奈川区福祉保健センター生活衛生課

TEL:411-7141

FAX:411-7039

防災の意識が薄れないように、新型コロナウイルス感染症対策徹底して、運営委員会を実施したり、小規模な訓練を実施するなど、可能な範囲で活動をお願いします。

